



地下鉄短信 (第335号) 平成29年2月15日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 向田正博

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



記事 ○「第2回軌道部会」を開催

○ 地下鉄施設の保守・維持等に関する研究会 (第2回軌道部会) を開催しました。

去る、2月9日(金)に、内神田すいすいビル5階会議室において、東京地下鉄(株)をはじめとする12事業者、オブザーバー参加の首都圏新都市鉄道(株)及び今回初めて参加した東京臨海高速鉄道(株)を加えた22名と(公財)鉄道総合技術研究所から3名の参加を得て、第2回軌道部会を開催しました。

まず、はじめに、「耐久性を考慮したレール防食法の開発について」をテーマに、鉄道総合技術研究所軌道技術研究部軌道構造研究室の片岡室長から、腐食環境下のレールの課題解決に向けた防食工法として「ガラスフレック工法」が紹介され、電食区間でも一定の効果を有すると考えられるとの話がありました。

引き続き、今回の研究課題である「レールの電食」の発生要因について、前回の部会で重枝き電研究室長から提案された電氣的要因も加味した「レール電食の現状と対策について」の事例発表が、参加



会議の様子①



会議の様子②

この事例発表は、発生状況の現状(写真含む)、対策及び効果に加え、変電所の位置や駅の縦断位置、河川の有無及びトンネルや軌道構造等を図式化し、パワーポイントを用いて行いました。参加各社局の事例発表に対して、その効果などについて予定の時間をオーバーするほどの活発な質疑応答が行われました。

次回の研究課題は「各社局におけるレール電食の現状と対策について」とすることとなりました。

今回は参加社局の事例発表に多くの時間を割くこととなりましたが、各社局が直面する課題に対して、他社局との比較を踏まえて、研究・検討する機会を提供できたことは、大きな意義があったと考えます。

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jmetro.or.jp